

シグマ研究委員会
核構造データWG・サブWG会合議事録

日 時 昭和 54 年 8 月 30 日 13:00 - 17:00
8 月 31 日 9:00 - 16:00

場 所 東海研究所 核データセンタ会議室

出席者 堀口(広島大), 松本, 田村(原研)

議 題 Nuclear Chart の改訂について

1. Chart of the Nucleides の改訂方針

1977年にJNDCからChart of the Nucleidesが発行された。この種の印刷物は定期的に新しいデータを補って、利用者への便宜をはかることが望ましい。今後、核データ情報の利用形態は計算機技術等の進展にともない新たな方向に発展する可能性もあるが、当面1980年度中に前回の改訂版を出すことを目標に作業を行うことになった。

2. 改訂手順と作業

Chart of Nucleidesには存在比、崩壊モード、半減期の3つの量が入っているが、新しい数値を文献から拾い出す作業はなかなか困難である。核構造データ・ファイル(ENSDF)には、このような基本量はもとより、その他の種々の量が評価・編集されているので、これを活用するのが得策である。しかしながらENSDFはファイル自体がかなり大きいので、これを個々のデータ項目で逐一検索することは不経済で実用的でない。半減期に関する情報はAdopted Levels, Gammasの中に完全に含まれているので、このサブファイルから出発するのがよい。

3. Adopted Levels, Gammas のサブファイル

現用のENSDF磁気テープから、Adopted Levels, Gammas のサブフ

ファイルを作成した。ファイルの良否は広島大学の計算機を使って調べ、さらに半減期などの情報を検索するプログラムを作成して、検索を行ってみることになった。